

2022年1月24日

報道関係各位

株式会社カネカ

IR・広報部

カネカ 北海道に医療機器工場を新設  
—約100億円を投資 グローバルに事業拡大—

株式会社カネカ（本社：東京都港区、社長：田中 稔）は、北海道の苫小牧東部産業地域（以下、苫東地域）に医療機器の工場新設を決定しました。投資金額は約100億円、2024年5月の稼働を予定しています。新工場は、製造プロセスの自動化、高度化による生産性の高いスマート工場とし、世界の旺盛な需要に対応してグローバルな事業拡大を加速してまいります。Medical Solutions Vehicle（以下、Medical SV）の新しいステージが始まります。

当社は Medical SV において医療機器を国内外へ事業展開しています。今回生産を予定している医療機器は米国での適応拡大や昨年発売した新製品の投入が奏功し、着実に販売が伸びています。血中の悪玉コレステロールを選択的に除去する「リポソーバー®」は、欧米を中心に今後も堅調な需要の伸長を見通しています。また新規の「レオカーナ®」は、重症化した閉塞性動脈硬化症（ASO）\*1に対する新たな治療法として市場から高い評価を受けております。今後、潜在患者数が多い米国、中国などで需要の急拡大が見込まれ、今回の工場新設による供給基盤の確保により飛躍的な事業拡大を図ります。

当社は 広範なラインアップにより幅広いニーズに応える Medical SV（インターベンション、血液浄化器など）と世界中の医薬品メーカーに価値あるソリューションを提供する Pharma Solutions Vehicle（低分子医薬品、バイオ医薬品など）を Health Care Solutions Unit（以下、Health Care SU）とし、事業ポートフォリオ変革のドライバーと位置付けております。今回の北海道新工場建設を含めこの領域の事業展開をさらに飛躍させ、2030年に Health Care SU の売上高3,000億円を目指します。

2017年に北海道の事業を統括する株式会社カネカ北海道を設立し、「Hokkaido Initiative」\*2をスタートさせました。2020年に株式会社別海ウェルネスファームを設立し循環型有機酪農に取り組むなど、地域性を活かした特色ある事業を展開しています。

新工場を建設する苫東地域は、陸・海・空路の利便性が高い物流の要衝に位置し、各種インフラが整備された日本有数の工業団地です。新工場には当社の太陽電池を設置し、「ゼロエネルギーファクトリー」を目指します。また、今般取得した事業用地は、Medical 領域以外の事業拠点としても積極的に活用していく考えです。

『ここでしかできない、ここだからできることがあります。北海道から、世界のネガイをカナエル。本気で信じるカネカが、動き始めます。』

以上

- \*1 動脈硬化などが原因となり下肢動脈の内部が狭窄・閉塞することで、血液の循環障害（虚血）が引き起こされる疾患。進行すると下肢切断や死亡リスクが高まる。
- \*2 北海道の新しい波、第二のニューフロンティアを経営戦略化して取り組むプロジェクト
  - ・ 農水産、酪農などの分野での生産活動
  - ・ 医療機器、バイオ薬品、再生細胞医療分野など先端医療拠点
  - ・ 農業、畜産分野で大幅な生産性を向上させる高機能肥料の提供



新工場のイメージ図